

2021年6月30日第73回運輸政策セミナー  
鉄道事業におけるカーボンニュートラル（脱炭素社会）に向けた取組み  
奥田専務理事 閉会挨拶

ご紹介頂きました専務理事の奥田です。

本日は、「鉄道事業におけるカーボンニュートラルに向けた取組み」と題したセミナーを開催しましたところ、大変多くの皆様にご来場、ご視聴をいただきまして、誠にありがとうございました。

また本日ご登壇いただきました吉高様、笠井様、相良様、近藤先生からは、それぞれのお立場から大変わかりやすいお話をいただきまして、ありがとうございました。

さらに、山内所長コーディネートの下、皆様からのご質問も交えたパネルディスカッションによりまして、皆様には、さらにご理解を深めていただけたと思っております。

このテーマに関しては、我が国では、昨年10月に「2050年カーボンニュートラル宣言」、また今年4月には2030年に2013年度比で温室効果ガスを46%削減するという目標が策定されており、今後、脱炭素社会に向けた動きが加速していくと思っております。

報道ベースですが、昨日が株主総会の開催ピーク日であり、そこで株主側から提起された議論として、アフターコロナへの対応に加えて、気候変動への対応に関するものが多く提起されたと伝えられております。

このような株主、投資家の関心の高まりに応じまして、民間におけるカーボンニュートラルに関する取組みが、さらに加速していくであろうと考えております。

そのような中、本日のセミナーを開催させていただきましたが、これによりまして、鉄道事業におけるカーボンニュートラルがさらに促進されるのみならず、本日ご紹介いただきました鉄道事業本体に関連した取組みもご参考にして

いただきながら、今後さらに我が国におけるカーボンニュートラルへの取組みの促進に繋がっていけばありがたいと思っております。

最後に1点お願いがございます。この後、皆様にはアンケートを送信させていただきます。本日のセミナーの内容、進行について、また今後我々の研究所で取り上げるべき課題などについて、忌憚のないご意見をいただけますと幸いです。

皆様から頂いたご意見については、所内で共有をいたしまして、業務運営の改善を図るべく努力してまいりますので、引き続き当研究所の業務につきましてご指導、ご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

改めまして本日はありがとうございました。